

平成 22 年 2 月 定例市議会

危機管理部総務委員会提出資料

- 1 チリ中部沿岸で発生した地震に伴う津波について **資料 1**
- 2 青色パトカーの活動概要について **資料 2**

チリ中部沿岸で発生した地震に伴う津波について
(平成 22 年 2 月 28 日～3 月 1 日)

総合防災課

1 津波情報

- ・ 9 時 33 分 和歌山県沿岸に津波警報発表
- ・ 16 時 06 分 和歌山港 第 1 波 0.2m (最大波：18 時 26 分 0.3m)
- ・ 23 時 36 分 津波警報解除 (津波注意報に切替え)
- ・ 8 時 40 分 津波注意報解除

2 防災体制

- ・ 9 時 33 分 災害対策本部設置 (第 1 配備体制)
- ・ 23 時 36 分 災害警戒本部へ切替え
- ・ 8 時 40 分 災害警戒本部を解散

3 市民への広報

(1) 防災行政無線による放送

- ・ 9 時 33 分 (全市、津波警報) ・ 14 時 10 分 (琴の浦地区、避難勧告)
- ・ 15 時 45 分 (加太港、避難指示) ・ 17 時 55 分 (片男波海岸、避難指示)
- ・ 23 時 54 分 (沿岸部、警報解除) ・ 23 時 57 分 (琴の浦地区、勧告解除)
- ・ 8 時 45 分 (沿岸部、注意報解除)

(2) 広報車による注意喚起

消防局 10 台 (10 時 30 分～)、広報広聴課 3 台 (12 時～) 計 13 台

4 避難措置等

(1) 避難場所の開設

- ・ 小学校 (津波発生時の優先開設避難所、12 か所)
雄湊、砂山、高松、雑賀、和歌浦、名草、浜宮、野崎西、加太、西脇、松江、湊
- ・ 支所・連絡所 (19 か所)
雄湊、湊、貴志、野崎、木本、加太、西脇、松江、雑賀、雑賀崎、名草、和歌浦、今福
砂山、宮前、宮北、中之島、高松、田野
- ・ その他 (津波避難協力ビル、琴の浦地区)
琴の浦リハビリテーションセンター、和歌山県子ども障害者相談センター

(2) 避難勧告・指示

- ・ 14 時 00 分 避難勧告発令、報道機関へ発表
(対象地区) 和歌山市毛見の一部・琴の浦地区
(対象人口) 204 世帯、423 人
- ・ 15 時 45 分 避難指示発令、加太港
- ・ 17 時 55 分 避難指示発令、片男波海岸
- ・ 23 時 36 分 津波警報から注意報への切替りとともに解除、報道機関へ発表

(3) 避難者の状況 (延べ数)

避難施設名	世帯数	人数(人)	備 考
雑賀小学校	1	1	自主避難 ※17 時 05 分全員帰宅
和歌浦小学校	4	4	自主避難 ※15 時 50 分全員帰宅
琴の浦リハビリテーションセンター	3	5	避難勧告 ※17 時 05 分全員帰宅
県子ども障害者相談センター	6	6	避難勧告 ※17 時 05 分全員帰宅
市民会館	2	2	自主避難 ※23 時 40 分全員帰宅
計	16	18	

(4) その他

河西橋通行止め (14 時開始、24 時解除)

青色パトカーの活動概要
(平成 21 年 4 月～平成 22 年 2 月集計)

地域安全課

1 乗務員

非常勤職員 2 名 (警察OB、消防OB)

2 活動日数と時間

平成 21 年 4 月以降 213 日 (月平均約 20 日)

巡回活動時間 1,165 時間 (1 日平均 5.5 時間)

巡回時間帯は午前 7 時から午後 9 時の間

(事象多発時間帯、午後 1 時から午後 5 時の活動時間は 737 時間 全体の 63%)

3 主な活動と成果

通学路や公園等を中心に声掛け事案発生地域を重点とした巡回、犯罪防止等の広報、啓発、警戒、地域の人々が不安に感じる不審者 (近隣とのトラブル事案等) に対する警戒

(主な成果)

- ・ 中学生の溜り場となり、小学生等が安心して利用できない公園において警戒し、中学生にマナー指導を行い環境改善した。(市民から感謝の声有り。)
- ・ 近隣住民とのトラブル、不審者徘徊地域への巡回により、該当地区での苦情が減少し、期待の声が高まっている。
- ・ 本市主催の子育て広場への不審者に対する警戒等を実施し、不安を解消した。(参加者から安心の声有り。)
- ・ 和歌山市内における刑法犯認知件数は、上半期に前年比 404 件増加であったが、下半期は前年比 418 件減少に転じた。(犯罪抑止に効果ありとの評価)

(活動結果)

区分	防犯指導	警告指導	支所等 立寄り	広報・啓 発	自主防犯団 体等への指 導・支援	公共空間 の点検	危険場所 の把握	合計
回数	300	269	244	66	40	48	13	980

4 平成 21 年中における少年被害にかかる認知概況 (別紙のとおり)

声掛け等事案認知件数

小学生 55 件 中高生 83 件 合計 138 件

性犯罪 (強制わいせつ) 被害認知件数

小学生 4 件 中高生 8 件 合計 12 件

※ 参考に平成 21 年中の和歌山市内刑法犯月別増減状況を添付しています。

平成21年中の少年被害にかかる認知概況

1 声掛け等事案認知状況

(1) 月別

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
小学生	7	4	4	6	6	4	13	3	3	4	0	1	55
中高生	9	9	3	10	4	10	8	0	14	5	3	8	83
計	16	13	7	16	10	14	21	3	17	9	3	9	138

※ 1月、4月、7月、9月に多発

(2) 曜日別

	月	火	水	木	金	土	日	計
小学生	12	11	13	7	10	1	1	55
中高生	15	18	14	13	14	6	3	83
計	27	29	27	20	24	7	4	138

※ 曜日別では平日が多く、休日の発生は少ない。

(3) 形態別

	わいせつ的 身体接触	暴力的 身体接触	公然わいせつ	盗撮・卑わい 言動	声掛け	つきまとい	計
小学生	20	9	7	3	13	3	55
中高生	38	8	14	10	10	3	83
計	58	17	21	13	23	6	138

※ 「わいせつ的身体接触」：胸、尻部等への接触行為 「暴力的身体接触」：腕を引っ張る等の行為

(4) 地区別（5件以上）

15件 名草、9件 野崎・高松・小倉、8件 有功、6件 貴志、5件 雑賀・木本・西脇

2 性犯罪認知状況（被害者別）

	小学生	中高生	計
強姦	0(0)	0(1)	0(1)
県下全体	0(0)	2(4)	2(4)
強制わいせつ	4(1)	8(11)	12(12)
県下全体	7(4)	23(17)	30(21)

※ () は平成20年の認知件数

和歌山市内 刑法犯月別増減状況

～平成21年と平成20年との対比～

区分	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
前年比 (増減)	東 署	7	27	55	46	87	28	27	5	-56	-48	-60	-79	39
	西 署	-3	23	53	37	30	16	-3	-12	-18	-50	-17	-28	28
	北 署	-51	11	16	-3	25	0	-26	7	-44	12	-2	-26	-81
	3署計	-47	61	124	80	142	44	-2	0	-118	-86	-79	-133	-14
前年比(各半期)	+404件						-418件						-14件	
H21年 認知 件数	東 署	223	244	275	300	320	265	276	307	236	222	192	187	3,047
	西 署	137	156	185	155	186	172	157	140	153	143	124	105	1,813
	北 署	106	123	149	157	173	151	137	138	120	141	129	107	1,631
	3署計	466	523	609	612	679	588	570	585	509	506	445	399	6,491
	(H20年)	(513)	(462)	(485)	(532)	(537)	(544)	(572)	(585)	(627)	(592)	(524)	(532)	(6,505)

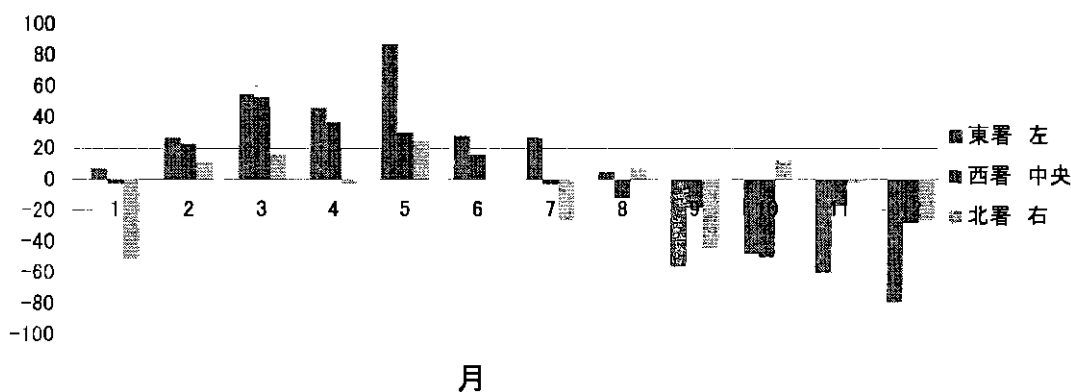
特徴 ①8年連続減少(H13年の11,313件から4,822件、42.6%減少)

②上半期は404件の増加(主に侵入盗、乗物盗)であるのに対し、下半期は418件の減少

③振り込め詐欺の認知件数は26件(被害額約1,500万円)で前年比64件(被害額約6,700万円)の減少

件数

刑法犯月別増減状況



主な増加罪種の前年比

署別 (半期)	東署		西署		北署		前年比	H21年認知件数
	上	下	上	下	上	下		
強 盗	3	-3	1	0	2	-1	+2	12
侵入盗	29	29	16	-11	28	-10	+81	545
乗物盗	112	-101	43	-17	62	-22	+77	2,106
非侵入盗	121	-27	43	-73	-48	-12	+4	1,038
増減	265	-102	103	-101	44	-45	+164	